

～荻莊則幸先生からのメッセージです～

新潟市医師会理事について

私も医師会の理事になり丸10年です、ぜひ若い先生たちに今後、医師会の仕事を経験していただきたいと思います。

いろいろな委員会、会議があり忙しいですが日常の診療以外に、いろんな面で日本医師会、県医師会の先生方、大学の教授、国、県、新潟市、行政や、ほかの診療科の先生たちとグローバルなおつき合いができ、グローバルな視野を持つことができます。

この10年間の私の仕事は急患センターの問題を収めるのに約6から7年かかりましたが着地点は確保できたかなと思っております。

その後の新潟市における毎年一月の2次輪番病院の意見調整、骨粗しょう症の連携委員会の開催、シンポジウムの開催、年に何度も行われる関東信越厚生局の個別指導の立ち合い。

学校における運動器検診も5年間準備にかかり新潟市教育委員会と何度も折衝しました。大学の協力もあり少しは新潟市方式の構築にお手伝いできたかなと思っております。

新潟市における警察医会の大学の法医学の高塚教授との共同での研修会の開催、県警察本部との共同研修の開催、大勢の知己が増えました。2巡目新潟国体における医事支援、インターハイにおける医事支援等の各種スポーツ大会における協力活動、、、この6月で任期が区切りで、藤田新潟市医師会長もおやめになる予定で、7月からは次期新会長の下で新体制が始まります。

今後整形外科の立ち位置を強固にするためにぜひ発言力がありアグレッシブな若い先生に医師会の役員になってほしいです。